

令和4年度

安来市地域包括支援センター事業報告書

I.	総合相談支援業務	P1
II.	権利擁護業務	P4
III.	包括的・継続的ケアマネジメント業務	P6
	■個別地域ケア会議（自立支援型ケアマネジメント会議）	P6
	■介護支援専門員に対する支援	P7
	■校区別地域ケア会議	P8
	■安来市地域ケア推進会議	P9
IV.	介護予防ケアマネジメント業務	P10
V.	短期集中予防事業「通所型サービスC」	P11
VI.	一般介護予防事業「住民運営通いの場 こけないからだ体操」	P13
VII.	認知症施策推進事業	P15
VIII.	組織運営	P19
IX.	各種実態調査	P24

I. 総合相談支援業務

1. 相談件数・内訳

(1) 地域包括支援センターの総合相談支援業務 対応件数 (令和3年度と令和4年度の同期数値)

年 度	令和3年度	令和4年度	対前年比(倍率)
延 べ 件 数	6,636	7,618	1.1 倍
実 人 数	990	1,081	1.1 倍

内 容 \ 年 度 (延べ件数)	令和3年度	令和4年度	対前年度比(倍率)
①認知症(疑い含)	2,672	2,943	1.1
②状況(実態)把握	2,624	3,000	1.1
③介保制度(申請・サービス含)	3,131	3,643	1.2
④福祉用具・住宅改修	534	680	1.3
⑤虐待(疑い含)	643	328	0.5
⑥生活困窮	874	574	0.7
⑦金銭問題(滞納・未納・債務含)	540	235	0.4
⑧困難事例	955	559	0.6
⑨ケアマネ支援	763	499	0.7
⑩成年後見制度	293	500	1.7
⑪権利侵害(金銭搾取・消費者被害)	129	116	0.9
⑫家族不和	958	618	0.6
⑬社会的孤立(引きこもり含)	1,140	1,202	1.1
⑭地域とのトラブル	534	566	1.1
⑮障がい・難病	698	842	1.2
⑯8050・20(ダブルケア含)	388	400	1.0
⑰ヤングケアラー	0	36	※前年度なし
⑱介護疲れ	695	394	0.6
⑲介護と仕事・介護離職	108	45	0.4
⑳住居確保・住み替え	327	241	0.7
㉑ごみ屋敷	205	159	0.8
㉒施設入所支援	466	521	1.1
㉓入退院支援	719	547	0.8
㉔受診支援(同行含)	288	518	1.8
㉕ギャンブル(依存症含)	6	35	5.8
㉖アルコール(依存症含)	159	260	1.6
㉗移動・交通(免許返納含)	110	100	0.9
㉘就労支援	47	25	0.5
㉙苦情関連	42	20	0.5
㉚講師・講演依頼	22	16	0.7
㉛連絡事項	198	199	1.0
㉜その他	426	256	0.6

(2) 複数の課題が重なるケースへの対応

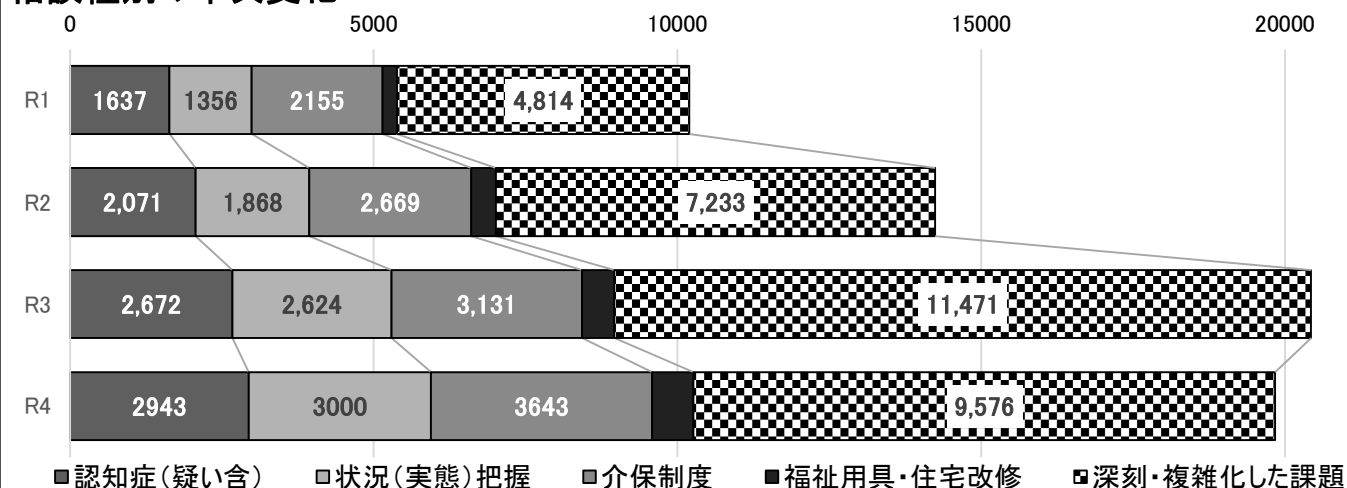
2種以上の課題を抱える人は**実数570人**、対応回数は**延べ5,432件**。

1人あたりが抱える課題の平均は、**3.24項目**であった。8個の課題をかかえる人が2人、10個の課題をかかえる人が1人、11個の課題をかかえる人が1人あった。

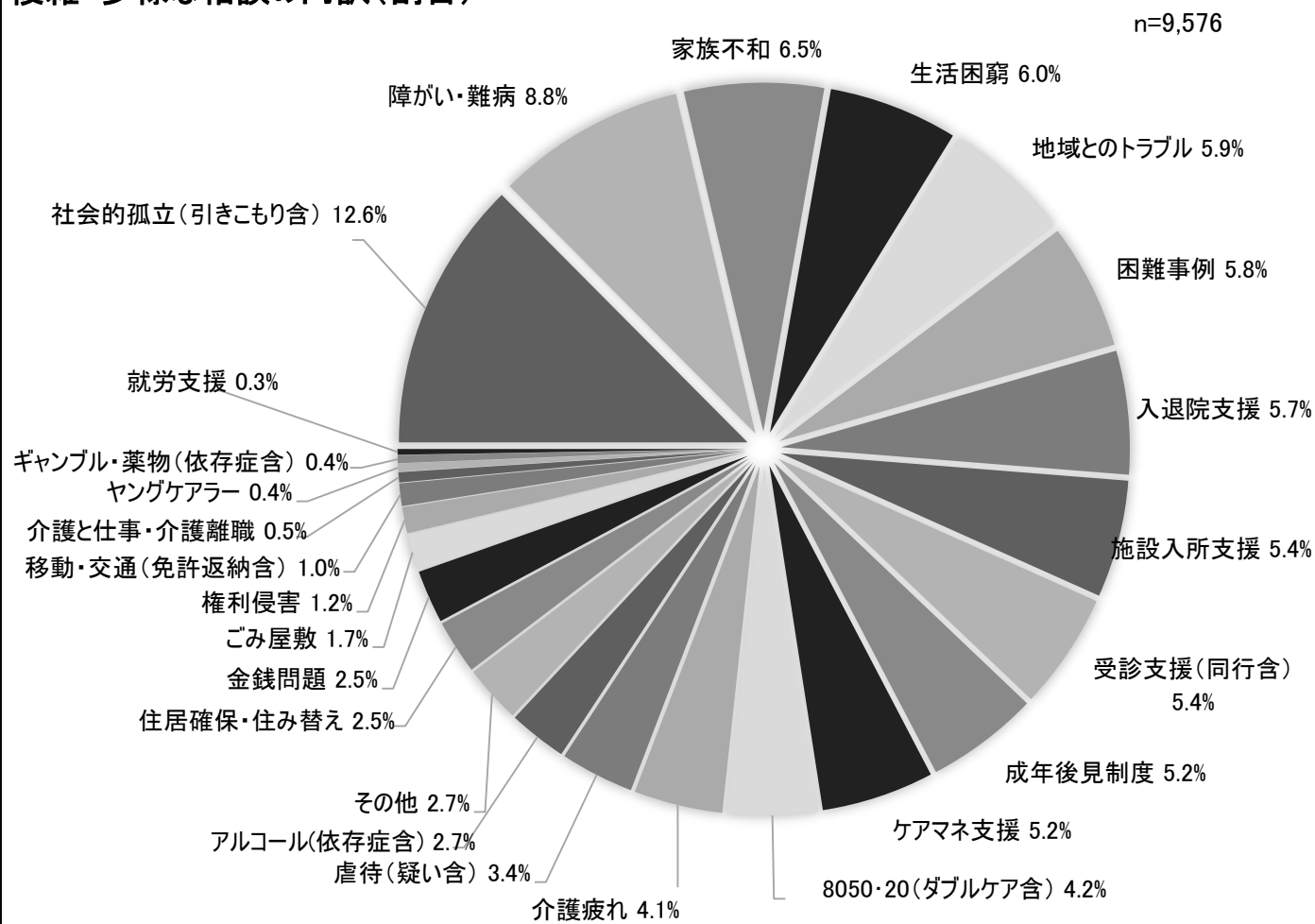
課題の数	延べ数
3項目	1,520
4項目	896
5項目以上	1,017

(3) 困難・深刻な課題を抱えるケースへの対応（複数選択あり・延べ件数）

相談種別の年次変化



複雑・多様な相談の内訳(割合)



2. 時間外・休日相談内訳及び対応

時間外相談件数 741 件、延べ対応時間は 174 時間。			
内 訳	件数	対応時間 (h)	
電話での相談	554	94.2	
連絡・伝言	117	12.7	
訪問等の緊急対応	37	41.7	
時間外の来所対応	25	23.5	

3. 「個別地域ケア会議」の開催

No.	実施日	参加者数	内容
1	4/22	8名	身寄りのない精神疾患のある対象者。生活困窮状態で税金滞納があるため、関係課も交えて支援策について検討。
2	5/26	5名	多額の利用料未納がある対象者への支援策について検討。
3	5/26	6名	障がいのある息子と同居する対象者。親子ともに金銭問題があるケースであり、それぞれの支援担当者が集まり今後の支援策について検討。
4	5/27	7名	住居とはいえない「小屋」に住む5人家族。父親の入退院支援、経済面の課題、20年来無職である子どもたちへの支援について検討。
5	5/31	5名	知的障がいのある対象者。金銭管理が困難な状況と配偶者への支援の必要性について検討。
6	6/9	7名	一人暮らし、精神疾患のある対象者。生活保護世帯であるが金銭管理の課題や友人との金銭問題、本人への支援について検討。
7	6/9	7名	一人暮らし、生活保護を受給する対象者。サービス利用を本人が断っている状況などから、今後の支援策について親族を交えて検討。
8	7/22	5名	両親と暮らす精神疾患のある対象者。本人への支援が行き届いていない現状の共有と、他機関との協働について検討。
9	9/2	7名	【虐待事例】同居の息子から虐待(ネグレクト)を受けている対象者。成年後見制度申立や今後の支援策について親族を交えて検討。
10	9/2	5名	一人暮らし、精神疾患のある対象者。金銭管理の課題について検討。
11	10/31	5名	精神疾患のある息子と同居する対象者。本人、息子それぞれの支援策について検討。
12	11/25	11名	【虐待事例】同居の息子から虐待を受けている対象者。施設入所、成年後見制度等の具体的な方向性について、別居の親族らを交えて検討。
13	12/1	8名	精神疾患のある息子と暮らす認知症の対象者。本人の生活支援・金銭管理、息子の居住支援等の支援策について検討。
14	12/15	6名	認知症の高齢夫婦世帯について、成年後見制度申立と今後のサービス導入等の支援策について検討。
15	1/20	6名	入院中の本人への今後の支援と、孫たちが乳幼児を養育する“ヤングケアラー”となったことに対する各種支援について検討。
16	2/3	7名	認知症の高齢夫婦世帯について、サービス導入後の情報共有と成年後見制度申立、緊急時対応等について検討。
17	2/3		
18	2/8	7名	本人への支援と情報共有、ヤングケアラーとなった孫たちについて、関係各課と情報共有。
19	3/22	9名	認知症の対象者の生活支援、施設入所、金銭管理等について検討。
20	3/27	6名	一人暮らし、知的障害(疑い)で債務を抱える高齢者について、今後の支援策検討。

4. 在宅介護支援センターの相談件数

市内3ヶ所の在宅介護支援センターに総合相談窓口を委託設置。実数235人、延べ278件だった。

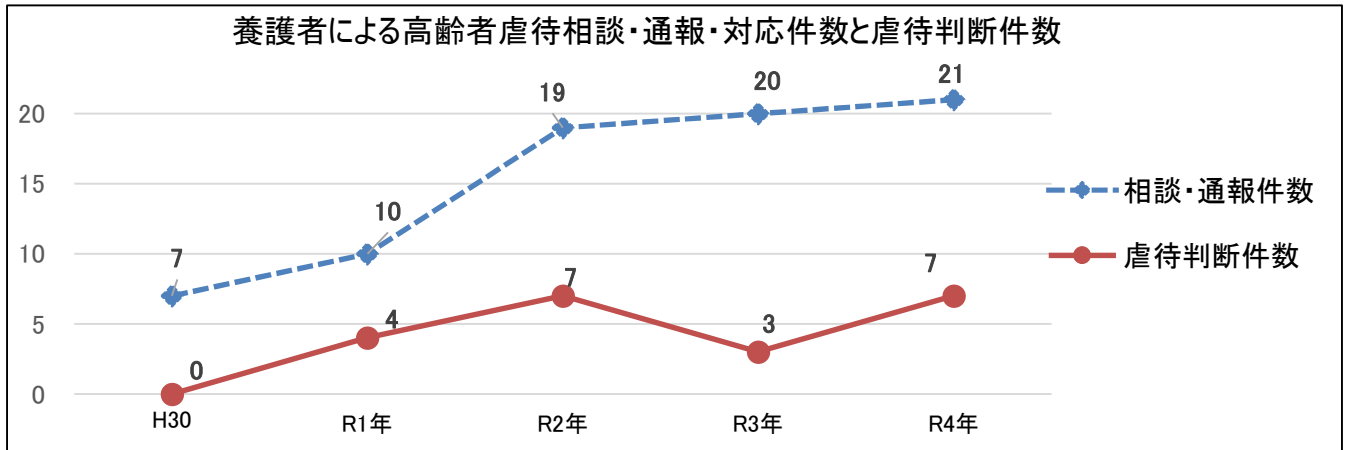
相談種別	件数	相談種別	件数
介保制度関連	254	ケアマネ支援	4
福祉用具・住宅改修	87	8050・20(ダブルケア含)	3
入退院支援	76	困難事例	3
認知症(疑い含む)	44	家族不和	2
施設入所支援	6	地域トラブル	2
状況(実態)把握	9	移動・交通	2
障がい・難病	5	成年後見制度	1
介護疲れ	6	社会的孤立	1
その他	5		
ごみ屋敷	5		

II. 権利擁護業務

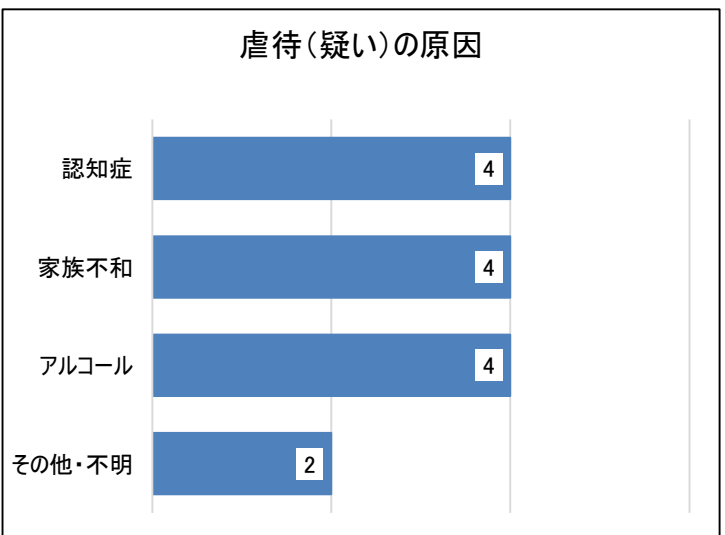
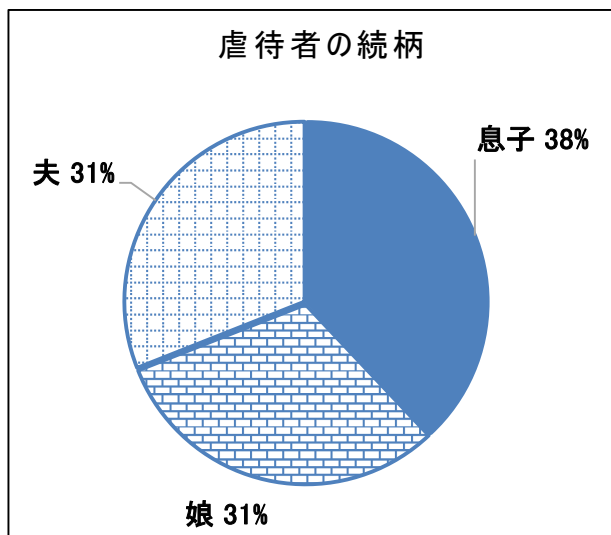
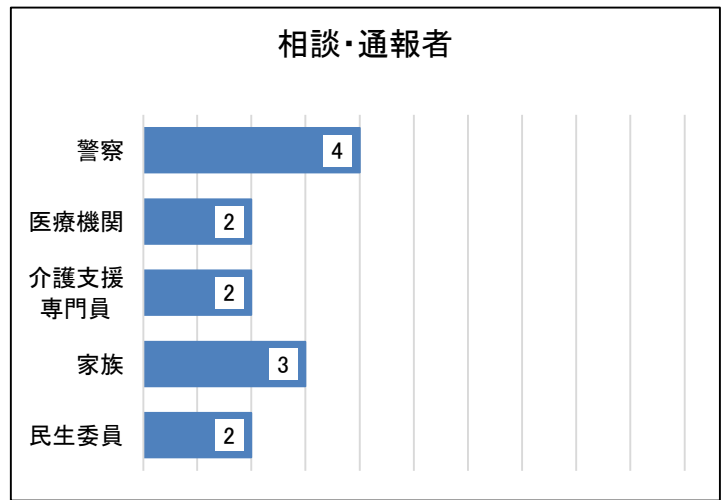
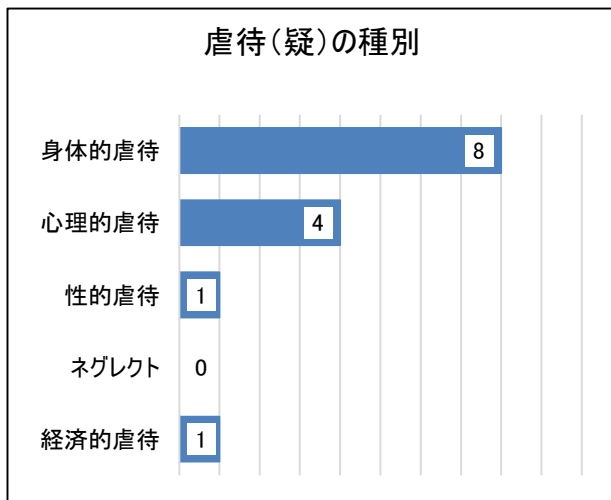
1. 高齢者虐待

(1) 高齢者虐待に関する相談は21件（新規13件、継続8件）。事実確認後、市とコアメンバー会議を開催し、7件が虐待判断となった。虐待につながっているケースは複合的な要因がかさなり、より関係機関（行政、基幹相談支援センター、医療機関、警察等）との連携が必要になっている。

(2) 養護者による虐待：虐待と認められた件数：7件



相談の内訳（新規13件）



2. 成年後見制度の利用促進

(1) 支援者のための成年後見制度活用講座の開催

日時：令和4年10月28日（水）13：30～16：00

場所：安来中央交流センター「音楽室」

講義：「成年後見制度の基本と第二期成年後見制度利用促進基本計画の概要について」

一般社団法人 権利擁護ネットワークほうき理事長 高橋 敬幸（弁護士）

報告：「中核機関の設置と役割について」

安来市健康福祉部福祉課 総合支援係長 高木 英治

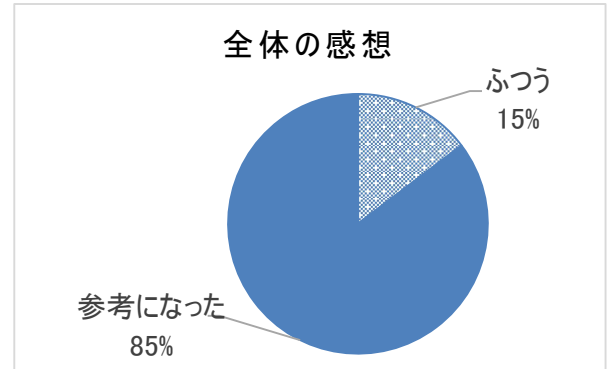
報告：「中核機関の具体的な取り組みについて」

安来市権利擁護センター

報告：「成年後見制度活用事例（2事例）」

安来市地域包括支援センター

参加人数：18名



【意見・要望】

- ・後見の手続きまで寄りそった支援がとても必要となるが「中核機関」に申立て支援まで行っていただけるとよい。
- ・成年後見制度は知っていたが、第2期計画や最新のトピックスについては初めて知ることも多く参考になった。
- ・成年後見制度についてもっと深く理解しなければと感じた。

3. 成年後見制度の相談支援件数：7件

相談者	相談内容
① 高齢者夫婦（70代）	墓じまい、永代供養について、他の兄弟の死後支援について
② 本人（80代）	受診や金融機関の手続きについて
③ 兄弟（70代）	障がいある兄弟の金銭管理について
④ 障がい相談支援事業所	障がいある子供たちの金銭管理について
⑤ 子（長男）	認知機能が低下した父の成年後見申し立てについて
⑥ 子（長男）	任意後見の手続きについて
⑦ 子（長女）	認知機能が低下した母のお金や通帳の管理について

4. 他機関との連携：7件

主催者	人数	内 容
① 病院	11名	情報共有と退院後の支援について
② 病院	8名	今後の支援について役割分担
③ 基幹相談支援センター	6名	情報共有と今後の支援について役割分担
④ 基幹相談支援センター	16名	障がい者自立支援会議 情報共有と今後の支援について
⑤ 精神科デイケア	5名	各種申請について、住まいについて検討
⑥ 行政	6名	虐待対応ケースの支援と役割分担
⑦ 病院	7名	後見人決定後の支援と役割分担

5. 消費者被害の相談件数：3件

対象者	介護度	内容
① 60代	未申請	知人からお金を無心される
② 80代	要支援2	知人が頼んでいない買い物をして支払いの請求をする
③ 90代	要支援2	リフォーム業者から騙されているのではないかと親族より相談

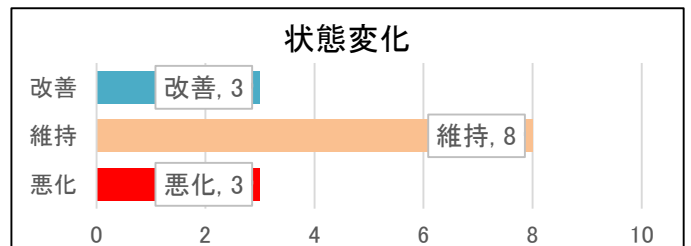
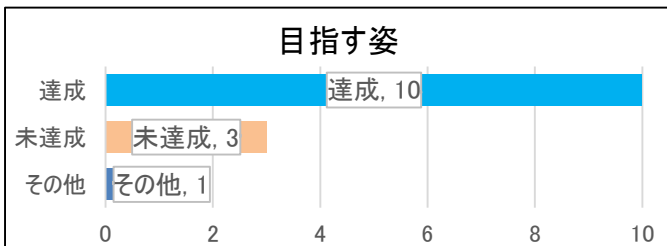
Ⅲ. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

1. 個別地域ケア会議（自立支援型ケアマネジメント会議）

- (1) 会場: 広瀬社会福祉センター視聴覚室(ハイブリッド開催)
 (2) 目的: 自立支援・重度化防止に資するケアマネジメント実践力向上と自立支援介護の展開を目指す
 (3) アドバイザー: 管理栄養士・歯科衛生士・主任介護支援専門員・リハビリ専門職・薬剤師・臨床心理士・保健師

区別	実施日	参加者	人数	会議内容等
アドバイザー 研修会	6/1	事例提供者(介護支援専門員) アドバイザー サービス事業所(訪問・通所) 介護保険課 包括職員	来場 7 オンライン 21	オンライン講演「自立支援型ケアマネジメントにおける効果的なアドバイスについて」(株)ライフリー 佐藤孝臣 氏
第1回 評価報告	5/18		来場 9 オンライン 5	評価報告 3 ケース(令和3年度実施分)
第2回 事例検討・評価報告	6/15		来場 10 オンライン 5	事例検討1ケース/専門職(管理栄養士)による同行訪問・評価報告2ケース(前年度分)
第3回 事例検討	7/20		来場 10 オンライン 6	事例検討 3 ケース
第4回 事例検討	8/17		来場 7 オンライン 7	事例検討 2 ケース
第5回 評価報告	9/21		来場 7 オンライン 6	事例検討 2 ケース
第6回 事例検討	10/19		来場 9 オンライン 5	事例検討 3 ケース
第7回 オンライン 講演会	11/21		来場 10 オンライン 16	オンライン講演「短期集中予防サービスと住民運営通いの場との連動及び会議の効果性について」(株)ライフリー 佐藤孝臣 氏
第8回 事例検討・評価報告	12/21		来場 8 オンライン 5	評価報告 1 ケース・事例検討 2 ケース
第9回 評価報告	1/18		来場 7 オンライン 5	評価報告 3 ケース・通所Cの事例紹介
第10回 事例検討・評価報告	2/15	来場 10 オンライン 6	評価報告 2 ケース・事例検討 1 ケース、通所C卒業後の様子	

(4) 検討事例の追跡調査（一部抜粋）（令和4年1月～令和4年8月/対象者14名：一部抜粋）の結果



(5) 会議での主な意見・感想

<p><アドバイザー> 対象者の状態像・自宅環境など動画による追加情報があり、イメージしやすく助言しやすい。グラフで数値化され、成果・効果が見えてよかった。</p> <p><ケアマネジャー> アドバイス内容をサービス事業者と共有し、ケアプランに反映したい。</p> <p><サービス事業所> 目指す姿の達成に向けた自立支援が重要で、サービス提供だけに目を向けてはいけない。</p>	
<p>《今後の課題》</p>	<p>① 状態改善後の受け皿(総合事業)拡充</p> <p>② LIFEとの連動</p> <p>③ 成果・効果の見える化(数値化)の追求</p>

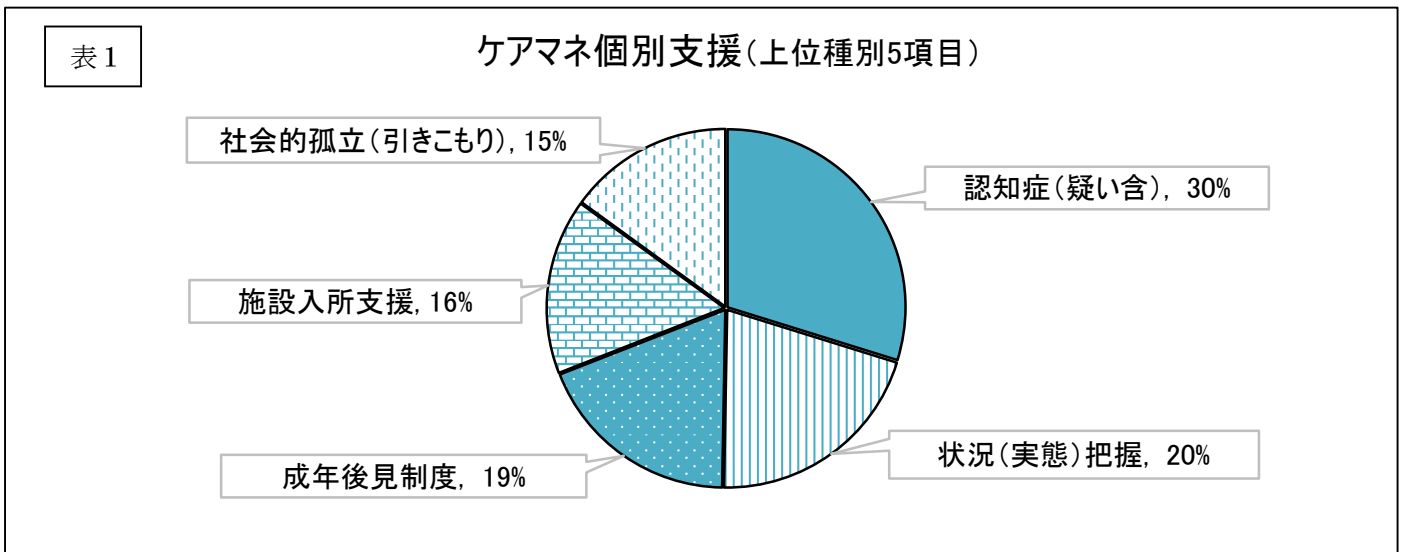
(6) その他

「自立支援型ケアマネジメント会議運営マニュアル」作成、関係者へ配布

2. 介護支援専門員に対する支援

(1) 個別支援

- ①困難ケースに対するケアマネへの個別支援（447件）表1参照
- ②ケアマネから包括への相談シートによる個別支援（4件）
- ③「社会資源情報誌」の更新・提供（市内居宅介護支援事業所）1回/年



昨年度は、上位種別が「家族不和」「社会的孤立」「生活困窮」であったのに対し、令和4年度は、「認知症(疑い含)」、「成年後見制度」の増加が顕著であった。

(2) 集団支援

No.	研修名等	実施日	対象者	参加者	研修内容等
1	(第1回)安来市主任介護支援専門員連絡会	7/15	市内主任CM 生活支援コーディネーター 介護保険課	19名	(1)行政説明「通院等乗降介助の考え方」 安来市役所 介護保険課 (2)話題提供 ・未来あらしま(ライフサポート部会) ・下山佐喜楽会(見守り活動について) (3)グループワーク 「インフォーマルサービスの活用と現状」
2	安来市介護支援専門員研修会	3/1	介護保険課 居宅・小規模CM サービス事業所	13名	(1)講演「ヤングケアラー支援について」 N.K.C ナーシングコアコーポレーション 合同会社 代表 神戸 貴子 氏 (2)質疑応答

3. 介護給付費適正化事業等

No.	業務内容	実施日	事業所数	実施数	備考
1	委託介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントのケアプランチェック	毎月	10事業所	497	介護予防支援委託先のケアマネジメント業務管理・ケアプラン指導・助言

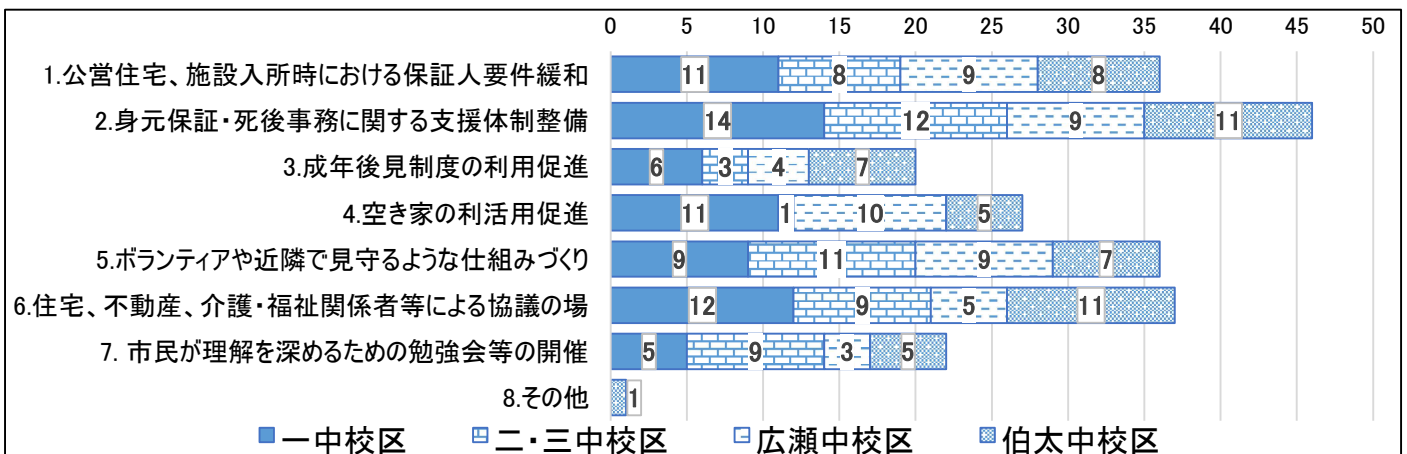
4. 校区别地域ケア会議

中学校区ごとに「住まいと生活の一体的支援を考える」をテーマに、各校区内の居宅介護支援事業所等から出された課題をもとに、多職種(多機関)において地域課題を共有し、解決に向けた協議ならびに意見集約を行った。

校区	実施日	会場	参加者	テーマに基づく意見集約等
一中校区	9月14日(水) 13:30~15:00	安来中央 交流センター	27名	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの確保に加え、地域での見守りや日常生活支援が必要。 ・市営住宅の保証人要件緩和とバリアフリー化の推進。 ・空き家を活用し、低所得者でも入居できる「セーフティーネット住宅」の促進。 ・「エンディングノート」の周知・活用。 ・「死後事務」等を担う公的主体の育成。
二・三中校区	10月11日(日) 13:30~15:00	広瀬 社会福祉センター	27名	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいに困窮している人は、複合的な課題を抱えている人が多い。気軽に相談できる包括的な相談支援の整備が必要。 ・住宅行政、福祉行政、不動産業界、福祉関係者等による連携の「場」づくりが必要。 ・市営住宅における保証人要件の撤廃。
広瀬中校区	11月18日(金) 13:30~15:00	広瀬 社会福祉センター	25名	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季、サービス利用ができない地域がある。公共施設や空き家を活用し、一時的なシェアハウスとして検討。 ・市営住宅の保証人要件の撤廃。 ・円滑な入居支援ができる「居住支援協議会」や「居住支援法人」の検討。 ・単身で身寄りのない人の施設入所について保証人要件見直しが必要。
伯太中校区	12月13日(日) 13:30~15:00	いきいきの郷 はくた 集会室	27名	<ul style="list-style-type: none"> ・山間地域で、車がないと暮らし続けることが困難な地域特性がある。 ・介護サービスやインフォーマルサービスも利用できない地域があり、入所施設も不足。 ・交流センターや廃校等を活用し、生活資源を集約し、移動支援や買い物、サービスなどが利用しやすい地域づくりの検討。 ・地域の支え合いの仕組みづくりが必要。 ・市営住宅保証人要件の緩和。

校区别地域ケア会議アンケート結果(抜粋)

Q.「誰もが自分らしい暮らしを人生の最期まで安心して暮らすためのすまいの確保」について、どのようなことが必要と考えられますか？(特に必要と思われる3つを選んでください)



Q.住まいと生活の一体的支援についての課題・意見・要望等について。(一部抜粋)

- ・今回の会議で出た課題が解決できるように行政はもっと努力してほしい。みんな必死で生活している。
- ・身元保証人がいないとできないことが非常に沢山あることがわかった。
- ・属性・分野を超えた重層的な支援体制の整備(重層的体制支援整備事業の導入)
- ・安来には選択できる住まいがほとんどありません。家にいても買い物に行けなかったりする家が多いのが現状。
- ・課題解決に向けて「居住支援協議会」等で情報共有ができればと思いました。

5. 安来市地域ケア推進会議

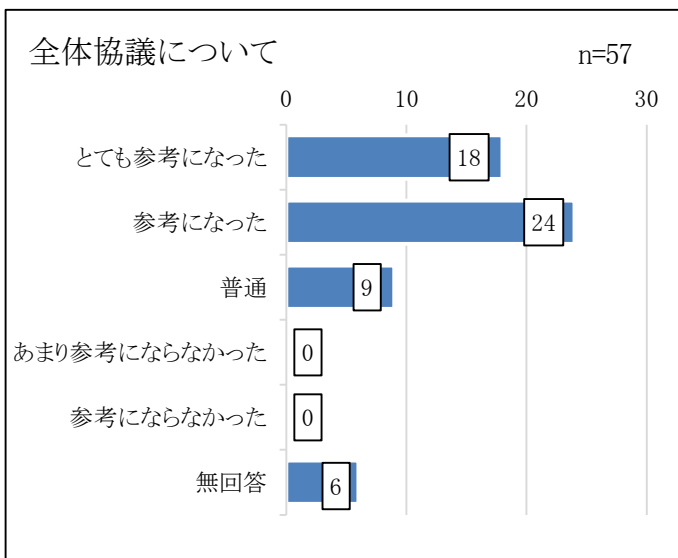
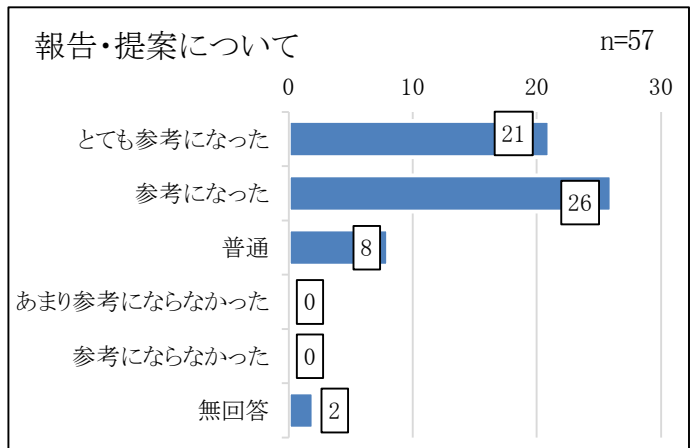
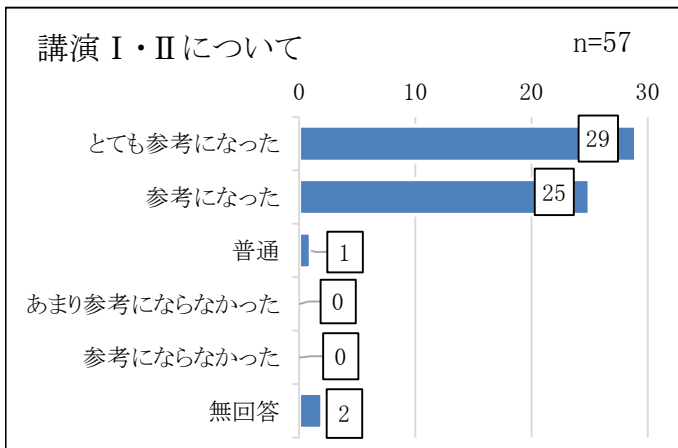
期 日 令和5年2月23日（木）13時～16時30分

会 場 安来市総合文化ホールアルテピア（小ホール）

参加者 86名（新型コロナウイルス感染対策の観点から規模縮小での開催）

- 内 容
- (1) 講演Ⅰ「住宅セーフティネット制度と居住支援の仕組みづくり」
一般社団法人 高齢者住宅財団企画部長 落合 明美 氏
 - 講演Ⅱ「大牟田市における住まいと生活の一体的支援」
大牟田市居住支援協議会 事務局長
NPO 法人大牟田市ライフサポートセンター 事務局長 牧嶋誠吾 氏
 - (2) 報告・提案
 - Ⅰ「校区別地域ケア会議の報告と提案」 安来市地域包括支援センター長 足立 卓久
 - Ⅱ「居宅介護支援を通しての住まいの課題と提案」
安来市在宅介護支援センターケアプランやすぎ 所長 木次 真理子 氏
 - Ⅲ「報告・提案を受け、市としての取組方針」 安来市介護保険課 給付係長 大森 剛
 - (3) 全体協議

安来市地域ケア推進会議アンケート結果（抜粋） 回収率：66.28%



- Q. 今後の「住まいと生活の一体的な支援」ならびに会議全体を通しての意見・感想・要望等について（一部抜粋）
- ・高齢者だけの問題ではなく、ともに支え合える世代交流が出来るべく、障がい者、単身子育て者等々の壁なく共生できる住宅を望む。
 - ・福祉部門が抱えている課題を建築部門に知ってもらうことが一番難しい。庁内の横の連携を図っていきたい。

IV. 介護予防ケアマネジメント業務

予防給付ケアマネジメント実績				
	事業対象者	支援 1	支援 2	合計
包括支援センター	0	3,070	2,107	5,177
委託分(10カ所)	0	917	1,182	2,099
合計	0	3,987	3,289	7,276

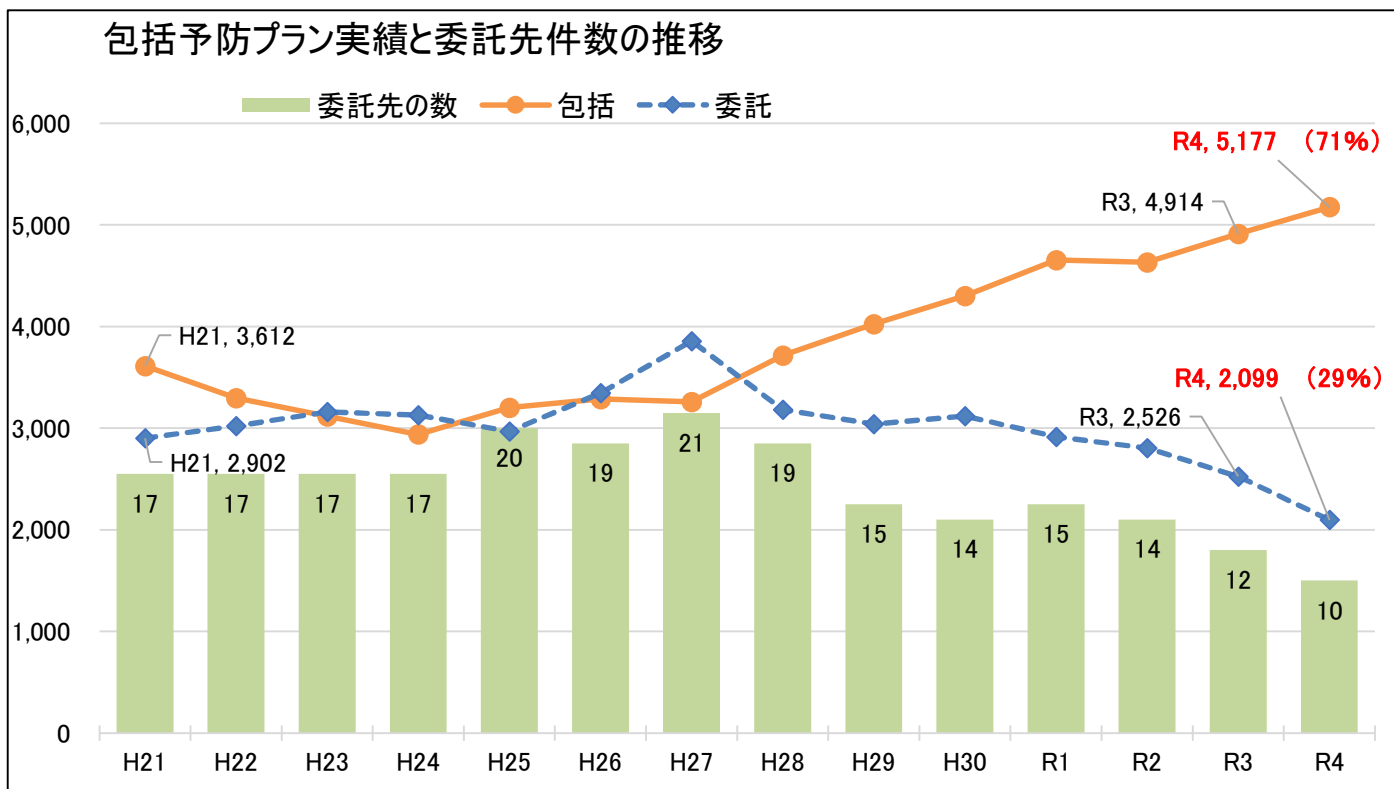
分類	新規		継続		事業対象者	計			合計
	介護予防	総合事業	介護予防	総合事業		介護予防	総合事業	事業対象者	
包括支援センター	99	60	3,705	1,313	0	3,804	1,373	0	5,177
委託分(10カ所)	50	22	1,621	406	0	1,671	428	0	2,099
合計	149	82	5,326	1,719	0	5,475	1,801	0	7,276
	231		7,045						

※通所型サービスCの実績はのぞく。

○委託先一覧

1	在宅介護支援センターケアプランやすぎ	6	いきいきの郷はくた
2	しらさぎ苑在宅介護支援センター	7	広瀬介護サポートセンター
3	在宅介護支援センターひろせ	8	ケアマネジメントくるみ
4	エプロンの会	9	介護支援とも・らいふ
5	安来市医師会介護計画センター	10	介護保険事業所くらしき

通所型サービスCに係るケアマネジメント実績 (包括のみ)				
	事業対象者	支援 1	支援 2	合計
新規	17	5	3	25
継続	51	16	11	78
合計	68	21	14	103



V. 短期集中予防事業 「通所型サービスC」

1. 実施方法

会場：安来市介護予防拠点施設「ふれあいプラザ」

時間：10：00～12：00

人数：各クール最大10名

送迎：希望者には送迎実施

内容：理学療法士・言語聴覚士・看護師が筋力・持久力・バランス維持能力等の評価を行いながら「運動機能」「栄養状態」「口腔機能」「心身機能」の改善を目的とし、約3カ月間（14回）で短期集中的にフレイル・介護予防サービスを実施した。

2. 対象者

「事業対象者」及び「要支援1・2」の希望者で、アセスメントを行い必要と認められた者。

3. 実施地域

	期間	利用人数
第1クール（伯太地域）	令和4年5月～令和4年8月	9名
第2クール（広瀬地域）	令和4年8月～令和4年12月	8名
第3クール（安来地域）	令和4年12月～令和5年3月	9名

4. プログラム内容

地域包括支援センター職員による「集団体操」を行った後、理学療法士による身体機能個別指導、言語聴覚士による口腔・認知機能個別指導を実施。管理栄養士・歯科衛生士による「栄養・口腔講座」を開催した。サービス終了後は「夢ランドしらさぎ振興事業団」より食事・温泉サービス提供（650円）。

（一日のスケジュール）

	8:30	9:50	10:00	12:00
内容	送迎開始	到着・受付 健康チェック	サービス開始 ①集団体操(こけないからだ体操) ②理学療法士・言語聴覚士による個別指導 ※適宜水分補給	サービス終了 希望者は食事・入浴利用

5. ケアマネジメントの方法

「ケアマネジメントA」を採用し、地域包括支援センター3職種がケアプランを作成。

6. 特定健診での啓発活動

令和5年1月19日、2月17日に「いきいきの郷はくた」で行われた特定健診の参加者のうち、高齢者に基本チェックリストを実施。事業対象者に該当する方に対し「通所型サービスC」の啓発活動を行った。

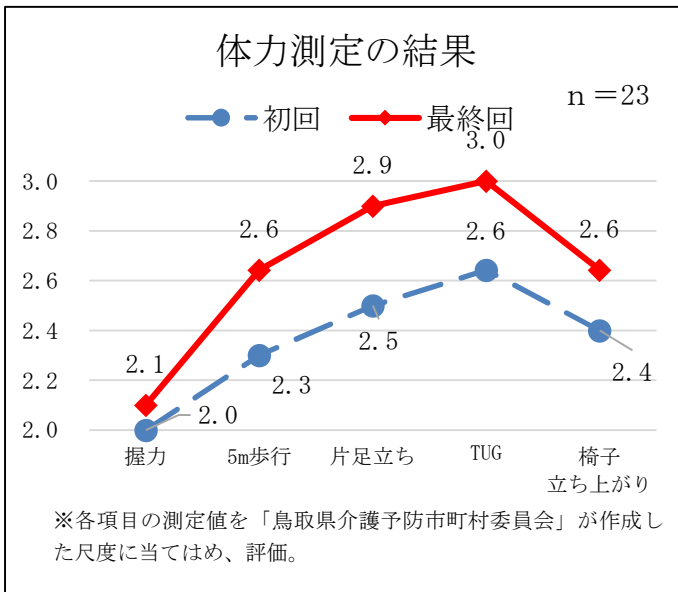
7. 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 送迎車乗車前、実施会場の入場前に検温を実施。
- (2) 会場の出入り際にはアルコール消毒液を用いた手指消毒を実施。
- (3) 体操に使用した物品はアルコール入りウェットティッシュを用い、消毒を実施。
- (4) 窓やドアの開放やサーキュレーターの使用等、換気を実施。

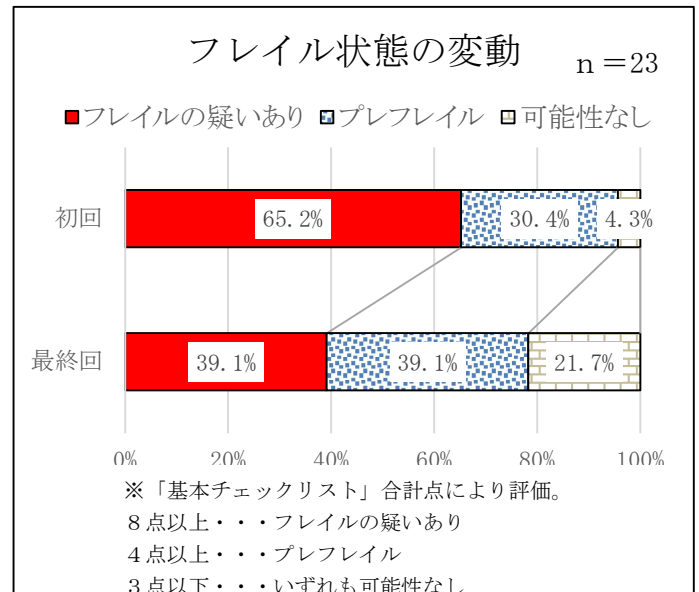
8. 効果測定

第一、第二クールについてはサービス初回と最終回に「身体機能」「生活機能」「口腔機能」「認知機能」に関する効果測定を実施した。

(1) 体力測定



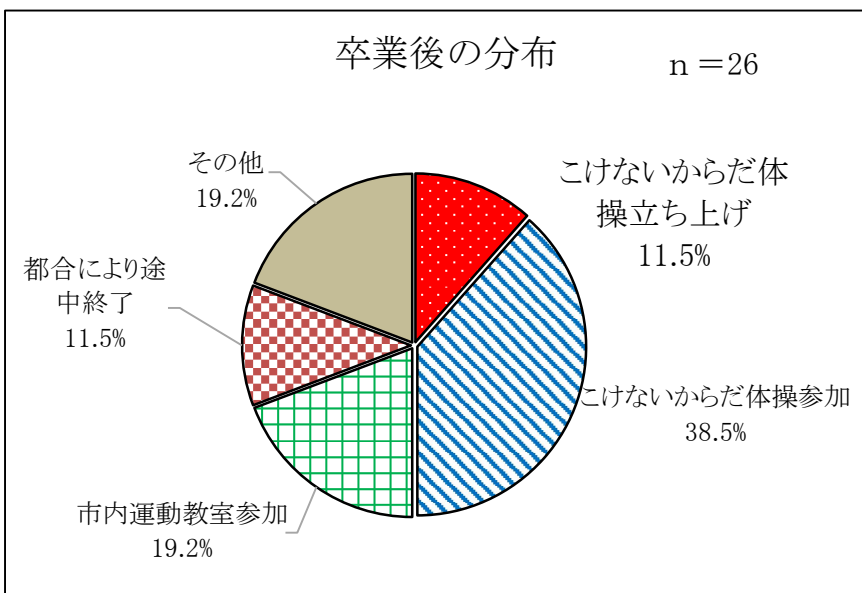
(2) 基本チェックリスト



(3) 測定評価

体力測定では、全ての項目において数値が向上する結果となった。「基本チェックリスト」による集計の結果、「フレイルの疑いあり」の方が減少し、「フレイルの可能性なし」の方が増加したことが明らかになった。また、口腔機能や認知機能についても「維持」という効果が明らかになった。

9. サービス終了後の継続について



令和4年度各クール終了後、どのように介護予防を継続されているか調査し結果、既存の団体への参加や新たな団体立ち上げ等、参加者のうち約7割が運動継続されていた。

特に、半数が身近な地域で「こけないからだ体操」を継続されていることが明らかになった。

VI.一般介護予防事業「住民運営通いの場／こけないからだ体操」

1. 実施地域

	開始年度	校区	地区名	会場	参加者	
新規	令和4年度	一中	社日町	社日交流センター	15名	
		二中	大塚町	大塚交流センター	9名	
		広瀬中	比田地区	西比田交流センター	30名	
		広瀬中	石原町	下石原公会堂	7名	
		広瀬中	八幡町	八幡町公会堂	7名	
継続	令和3年度	一中	十神地区	安来中央交流センター	14名	
		三中	赤江町	赤江交流センター	18名	
		三中	荒島町	大西町集会所	7名	
		広瀬中	本町	広瀬中央交流センター	14名	
		伯太中	伯太町安田	中の上集会所	9名	
		全市	ふれあいプラザ	ふれあいプラザ	10名	
	令和2年度	一中	南城谷（2団体）	南城谷公会堂	18名	
		三中	飯梨町	開公会堂	10名	
		広瀬中	中の丁	広瀬社会福祉センター	16名	
	令和元年度	一中	島田町	島田交流センター	11名	
		伯太中	日次	日次老人集会所	5名	
	平成30年度	広瀬中	町帳	町帳集会所	9名	
	合計参加数				18団体	209名

2. 専門職の定期的な関与

- (1) 理学療法士（安来市立病院・安来第一病院・医師会診療所）
- (2) 管理栄養士・食生活改善推進員（介護保険課・いきいき健康課・安来市栄養士会・食生活改善推進協議会）
- (3) 歯科衛生士（安来市歯科衛生士会）
- (4) 保健師（介護保険課）

3. 新規実施地区スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内容	初回体力測定			栄養講座			半年後体力測定				
	基本チェックリスト			口腔講座			基本チェックリスト				
	地域包括支援センター職員による短期集中支援			住民の主体的な運営 (地域包括支援センターより、定期的なフォローアップ)							

4. 特定健診での啓発活動

令和5年1月19日、2月17日に「いきいきの郷はくた」で行われた特定健診の参加者のうち高齢者に対し「こけないからだ体操」の啓発活動を行った。

5. 開催方法

(1) 地域包括支援センターからの支援

- ①新規地区については3カ月間、担当職員が毎回参加し短期集中支援を行った。
- ②4カ月目以降は住民の主体的な運営に移行。定期的なフォローアップを行った。
- ③継続実施2年目以降の団体については助成金を支給。

(2) 取組内容

- ①準備体操、歌を歌いながら行う6種類の筋力体操、整理体操
- ②管理栄養士・歯科衛生士による「栄養・口腔講座」を実施。(各地区1回ずつ)
- ③理学療法士による定期的な「体力測定」を実施。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

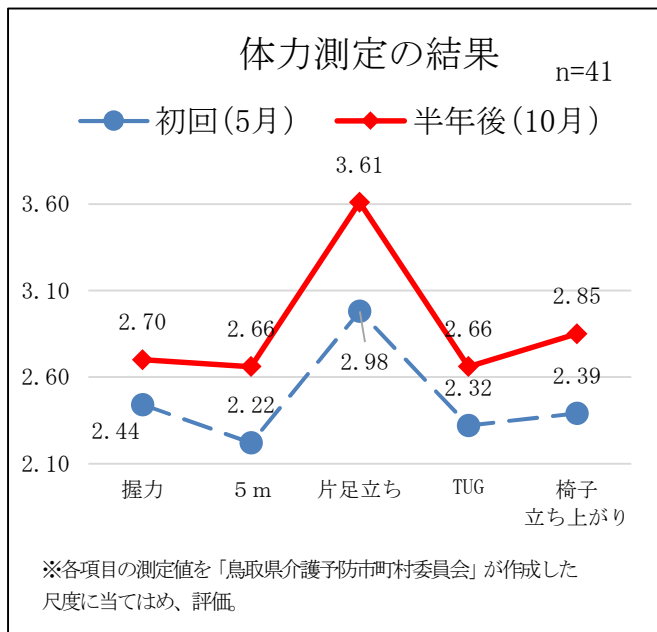
市内での新型コロナウイルス感染者の増加がみられたが、活動を自粛することでフレイル者の増加が懸念されたため、文書等での注意喚起を行い、以下の点について留意しながら活動の継続に努めた。

- ①実施会場の入場前に検温を実施。
- ②会場の出入りの際にはアルコール消毒液を用いた手指消毒を実施。
- ③体操に使用した物品はアルコール入りウェットティッシュを用い、消毒を実施。
- ④窓やドアの開放、サーキュレーターの使用等、換気を実施。

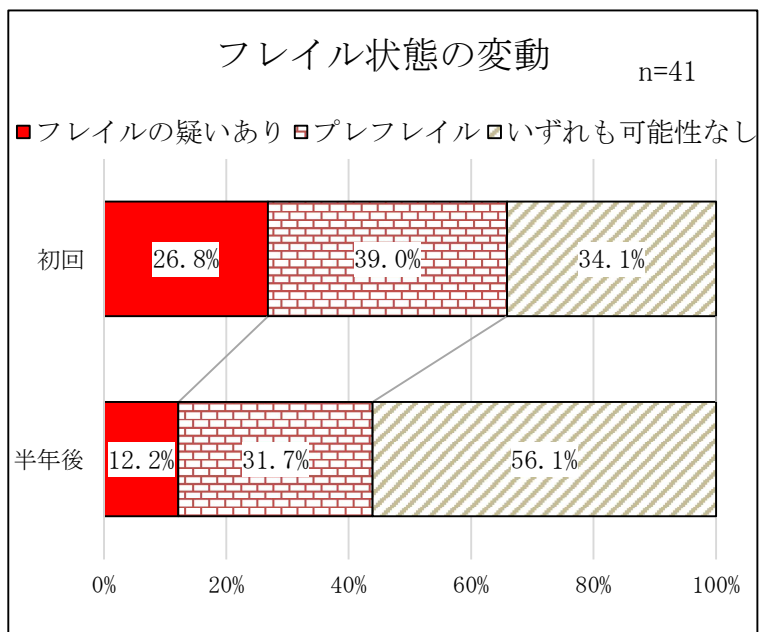
6. 効果測定

令和4年度新規地区については、事業開始時と半年後に体力測定と基本チェックリストを実施。運動機能と生活機能の両面から事業の効果検証を行った。

(1) 体力測定



(2) 基本チェックリスト



※初回と半年後の効果測定時に参加した方みの数値を集計

(3) 測定評価

「体力測定」では、全ての項目において数値が向上するという結果がみられた。「基本チェックリスト」によるフレイル状態の評価を行ったところ、「フレイルの疑いあり」「プレフレイル」の方が減少し、「いずれも可能性なし」の方が増加するという結果が明らかになった。

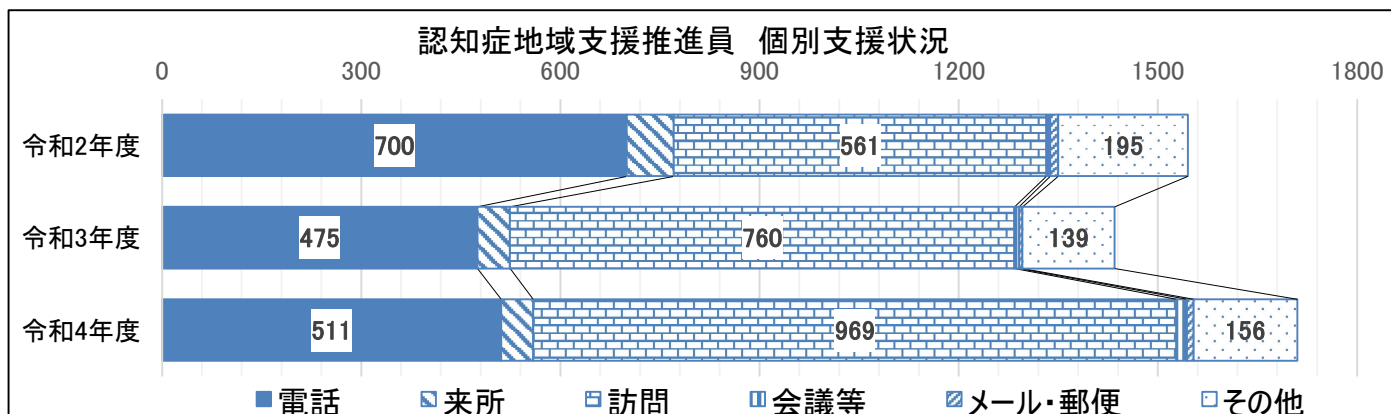
7. その他

令和4年度は「通所型サービスC」との連動を推進。令和5年3月末時点で事業を卒業した方の内半数以上が自主的な「こけないからだ体操」の立ち上げや既存の通いの場への参加により、活動の継続につながった。

Ⅶ. 認知症施策総合推進事業

1. 認知症の早期発見 早期支援

(1) 相談体制の強化 個別相談



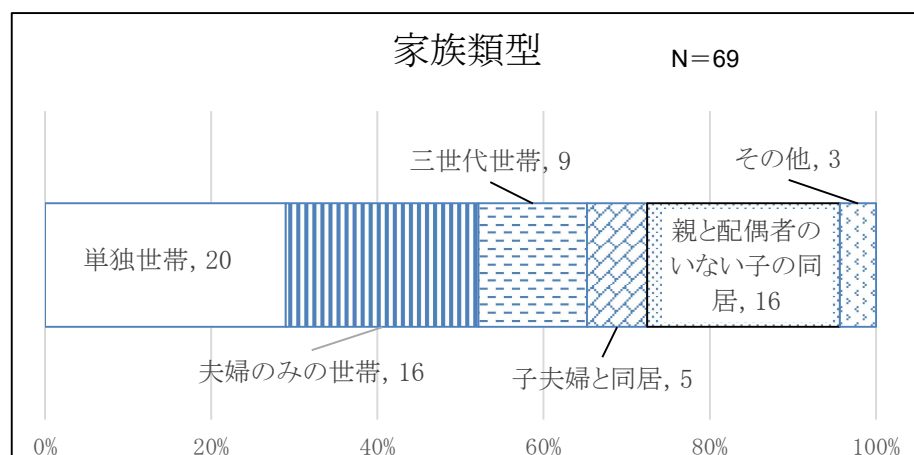
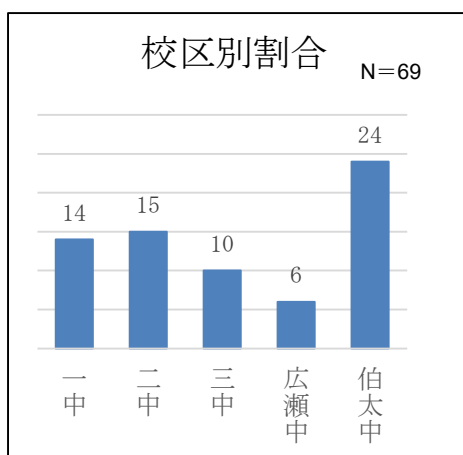
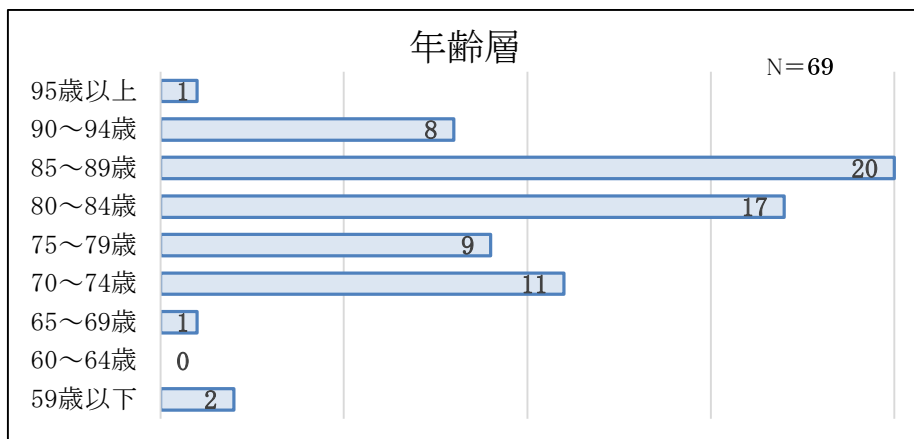
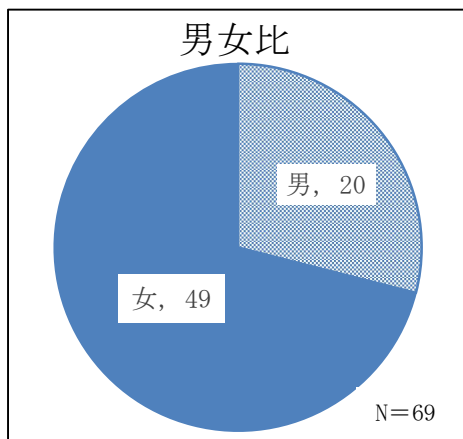
認知症地域支援推進員の個別支援は年々増加傾向にあり、特に「個別訪問」の回数が伸びている。困難ケースは、必要に応じ「認知症初期集中支援チーム」と連携し、対応している。

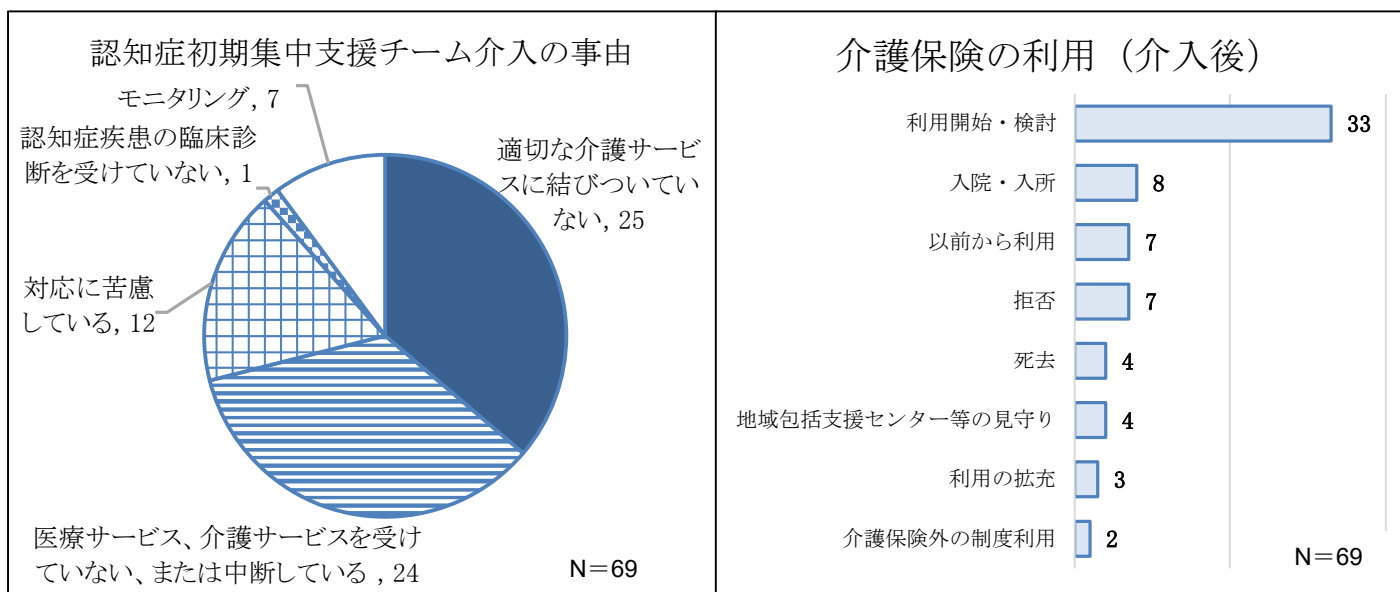
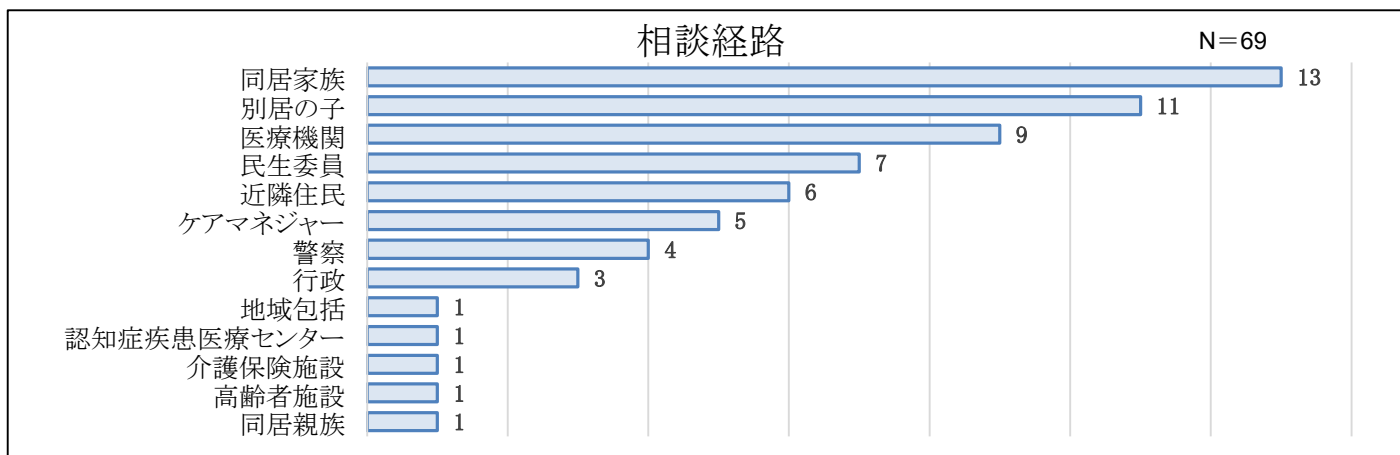
(2) ネットワーク機能の強化

認知症初期集中支援チームの対応実績 (チーム員会議開催数:6回)

支援対象者:69件(令和3年分85件 令和2年分49件) 対応回数:912回(訪問回数:505回)

チーム員会議は、対面会議2回実施したが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、4回は書面会議とした。





- ・認知症地域支援推進員が定期的に訪問し、信頼関係を構築することで介護保険の利用や受診につながったケースが多く見られた。
- ・介護保険の利用拒否には、本人の拒否もあるが、経済的な理由や家族が必要を感じないなども理由としてある。
- ・介護保険の利用には至らないケースは引き続き安来市地域包括支援センターの認知症地域支援推進員が見守り訪問を実施する。

2. 認知症高齢者及び家族を支援する体制の確立

(1) 在宅生活支援の体制づくり

① オレンジカフェの開催

令和3年5月より毎月第2木曜日「ふれあいプラザ」で開催。本年度はコロナウイルス感染予防の為 8月、9月は中止とし、計10回開催。実人数16名、延べ104名の参加があった。なお、中止の期間には認知症地域支援推進員が個別訪問を行った。

② 本人交流会の開催

令和3年5月より隔月第3金曜日「ふれあいプラザ」で開催。当事者同士が集まり日頃の思いや悩みなどを話し合う。11月はコロナウイルス感染予防の観点から中止。計5回開催。実人数8名、延べ41名の参加があった。

③ 山陰ど真ん中プロジェクト

令和4年11月20日 米子港にて鳥取県西部地区との本人交流会に参加。認知症当事者同士の橋渡しとして鳥取県西部の当事者が作成したカヌーの進水式、食事会などで交流を深めた。

令和4年12月3日 丹野智文氏 山中しのぶ氏の進行により、安来の当事者4名、鳥取県西部の当事者2名と共に本人ミーティングを開催した。

(2) 家族介護者への支援

①認知症家族のつどいの開催

ふれあいプラザにて毎月第3月曜日に開催。

偶数月には公益社団法人 認知症の人と家族の会鳥取県支部の相談員がアドバイザーとして参加。

②男性介護者のつどいの開催

令和5年3月9日開催 若年性認知症の妻を介護した男性に体験談を話していただいた。

介護者6名 当事者1名の参加

3. 基盤整備

(1) 認知症サポーター養成講座 開催回数 3回 延べ受講者人数 24人

開催日	団体名	人数
8月21日	休日相談	1名
9月13日	生活支援ボランティア養成講座	18名
12月13日	鳥根県立安来高等学校(認知症疾患医療センターと実施)	10名
計		29名

(2) 認知症出前講座

開催日	団体名	人数
8月24日	須山ミニサロン	6名
10月7日	南城谷こけないからだ体操	7名
10月11日	南城谷こけないからだ体操	4名
1月30日	認知症予防講座(比田 かえるの会)	18名
計		35名

(3) もの忘れトレーニングプログラム(ものトレ)実施による認知機能への効果検証

昨年に引き続き、鳥取大学との共同研究で、1週間に1回こけないからだ体操及びもの忘れトレーニングを実施。本年度はこけないからだ体操を実施している市内6カ所の地区101名(対象群)と1ヶ月に1回程度ミニサロンを実施している2カ所の地区(非対象群)17名に対し、物忘れ相談プログラムによる半年毎の効果検証を行った。

(4) 高齢者見守りネットワークの協議

令和4年8月5日 安来市役所 安来警察署と安来市のSOSネットワークについて協議を行った。

現在の仕組みでは、安来市、警察、地域包括支援センターが情報共有をするが、地域全体で支える仕組みにはなっていない課題がある。

(5) 高齢者の運転免許証返納

令和4年11月14日 安来市 安来警察署 認知症疾患医療センター 安来市地域包括支援センターで高齢者の運転免許証返納について協議を行う。

(6) 特定健診での普及啓発活動

令和5年1月19日、2月17日いきいきの郷はくたで行われた特定健診会場において「もの忘れ相談プログラム」を用いて認知症についての啓発活動を行った。

(7) 認知症講演会の開催

若年性認知症当事者からの発信をテーマに講演会を開催。

期 日：令和4年12月3日

会 場：安来市総合文化ホール アルテピア「小ホール」

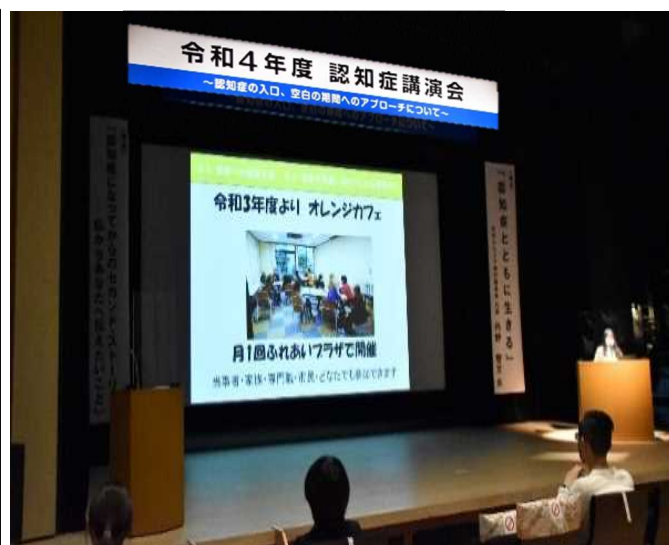
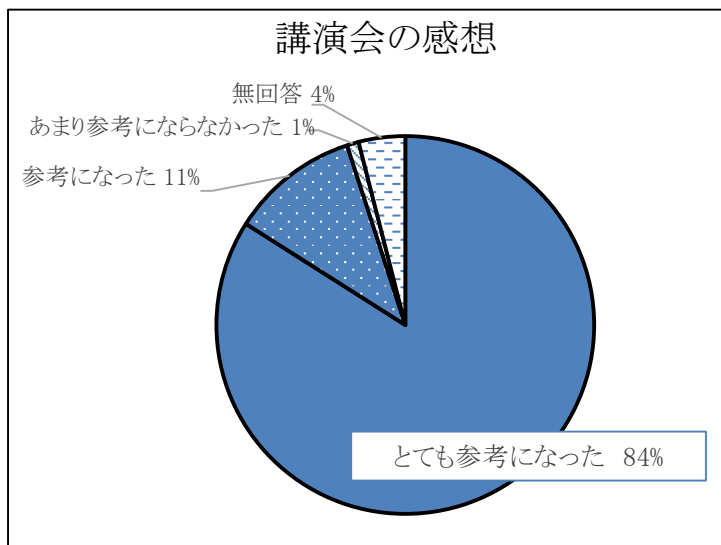
参加者：106名（会場参加 86名・オンライン参加20名）



山中しのぶ氏のご家族より、家族の在り方についての講話もあった。

—参加者アンケートより抜粋—

- ・「当事者の生の声を聴けて良かった」
- ・「もっと本人の自己決定を待つ欲しいという声が心に響いた」
- ・「支援者として参加したが自分ごととして考えるきっかけになった」
- ・「沢山の方に今回の講演をきかせてあげたい」
- ・「サービス事業所の方々にもっと聞いていただきたいかった」



VIII. 組織運営

1. 情報発信の強化

(1) ホームページの運営・更新

①掲載項目・記事

- ア. 事業計画・事業報告・包括評価
- イ. 認知症施策総合推進事業、本人交流会日程、認知症講演会案内
- ウ. 地域ケア会議、校区別地域ケア会議、自立支援型ケアマネジメント会議
- エ. 介護予防（こけないからだ体操の内容、紹介映像、交流会の様子）
- オ. 権利擁護（権利擁護セミナーの要項、消費被害・虐待の注意喚起記事）
- カ. その他（包括ニュースレターのバックナンバー掲載、ケアマネから包括への連絡シート、地域見守り（気づき）シートのPDFファイル、入力フォーム、各種調査報告書の掲載）

②アクセス・閲覧数

R1年7月の開設以降、延べ149,481件のアクセスを記録している。

(2) 包括ニュースレターの発行

包括事業の告知・内容を掲載し発行。市内の事業所、関係機関、市内民生児童委員、各交流センターなどに発送するとともに、ホームページにバックナンバーを掲載している。

①第11号 5月発行

- ア. 特集「医療・介護実態調査」から見えてきた課題
- イ. 令和4年度「こけないからだ体操」の開始について
- ウ. 新任職員紹介

②第12号 8月発行

- ア. 令和4年度「通所型サービスC」の活動状況、効果測定結果
- イ. 令和4年度「校区別地域ケア会議」「地域ケア推進会議」開催のお知らせ
- ウ. 特集「個別地域ケア会議」の取り組みについて

③第13号 12月発行

- ア. 令和4年度「こけないからだ体操」効果測定の結果
- イ. 令和4年度「安来市地域ケア推進会議」のお知らせ
- ウ. 特集「認知症施策推進事業」の事業・活動（一部紹介）

④第14号 3月発行

- ア. 「福祉総合相談窓口」を開設します
- イ. 令和4年度「安来市地域ケア推進会議」を開催しました
- ウ. 「訪問介護サービス実態調査」の中間報告

令和4年度 通所型サービスCの活動状況

令和4年度「通所型サービスC」を実施しています。
「通所型サービスC」とは、安来市介護支援拠点施設「ふれあいプラザ」において、専門職の指導のもと運動・音楽・作業に関するプログラムを3ヵ月間週5回実施し、利用者（利用者）がフレイル・要介護状態になることを予防するとともに、自ら継続して介護予防に取り組み、地域で自立した生活が維持できるよう支援する事業です。

令和4年度 3カ月間の効果測定結果

5月より開始した、本市域にて効果測定を行いました。前月と最終月（8月）のデータを比較したところ、身体・生活機能の全ての項目において3カ月間で「改善」といった結果が明らかになりました。

項目	前月 (5月)	最終月 (8月)
握力	2.1	2.3
歩行速度	1.9	2.1
TUG	2.1	2.3
椅子	1.9	2.1

項目	前月 (5月)	最終月 (8月)
認知 (5点)	10	10
歩行 (5点)	7.6	7.6

令和4年度 地域ケア会議について

「地域包括ケアシステム」の実現に向け、市民の皆様をはじめ、医療・介護・福祉関係者の方々と連携、テーマに沿った地域ケア会議を開催しています。
本年度のテーマは「住まいと生活の一体的な支援を考える」です。
身寄りのない高齢者をはじめ、医療や介護を受ける必要とする高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで安心して暮らすことのできる支援について考えることを目的に開催します。

「校区別地域ケア会議」の日程

校区	期日	会場
1号	9月14日(水)	安来中央交流センター
2・3号	10月11日(火)	広瀬社会福祉センター
広瀬中	11月18日(金)	広瀬社会福祉センター
松島中	12月13日(火)	いきいきの輝はくた集会所

「安来市地域ケア推進会議」の日程

- 開催日 令和5年 2月23日(木)
(感染状況によっては、延期または中止する場合があります。)
- 会場 安来市総合文化ホール アルテピア(小ホール)
- 参加者 150名以内
- 講師 一般財団法人高齢者住宅財団 企画部長 高倉 晴夫 氏
財団法人寿楽ライフサポートセンター 事務局長 牧島 誠司 氏

※参考 包括レター 第12号

2. 行事等

(1) 各種会議の開催・出席状況

会 議 名 等	開 催 日
広瀬地区民生児童委員協議会定例会	4/19
地域包括ケアシステムにおける「在宅医療・介護連携」に係る実態調査の取組と提案	4/21
令和4年度 安来地域介護支援専門員協会研修(アセスメント研修会)	5/14
令和4年度 第1回地域包括支援センター・在宅医療支援センター合同連絡会	5/24
令和4年度 総合相談支援事業 業務委託事業所連絡会	6/17
島根県地域包括支援センター連絡会 三役会	6/29
高齢者見守りネットワーク説明会	8/5
令和4年度 個別虐待ケースの経過とモニタリング期間(安来市高齢者虐待防止対策協議会)	8/18
令和4年度 校区別地域ケア会議(一中校区)	9/14
松江圏域重症神経難病患者の介護支援専門員連絡会	9/20
重層的支援体制整備事業実施市町村連絡会議(オブザーバー参加)	9/26
令和4年度 校区別地域ケア会議(二・三中校区)	10/11
安来市認知症対策スタッフ打ち合わせ	10/18
令和4年度 支援者のための成年後見制度活用講座	10/28
島根県地域包括支援センター連絡会(センター長会および理事会)	11/1
障がい福祉サービス事業所運営懇談会	11/2
高齢者の移動・交通に関するスタッフ意見交換会	11/14
令和4年度 個別地域ケア会議(自立支援型ケアマネジメント会議)公開講演会	11/21
令和4年度 校区別地域ケア会議(広瀬中校区)	11/18
令和4年度 校区別地域ケア会議(伯太中校区)	12/13
令和4年度「認知症地域支援体制推進全国合同セミナー」(第2回)	1/20
令和4年度 安来市地域ケア推進会議	2/8
令和4年度 医療介護合同勉強会(地域で取り組む防災・もしもに備えて)	3/5
令和4年度 安来市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体会議	3/13
2022年度 島根県虐待対応専門職チーム登録者研修会・情報交換会	3/30

(2) グループホーム等運営推進会議出席状況

会 議 名 等	対面会議の開催日	備 考
きららの家・ことぶきの家・昌寿の家運営推進会議	10/24	※開催日の記載がない事業所については、書面会議にて報告を受けた。
かがやきの園運営推進会議		
やすらぎの園運営推進会議		
絆・やすぎの郷運営推進会議	10/13	
荒島ふれあいの郷運営推進会議		
かも運営推進協議会	3/8	
ソレイユあらしま運営推進会議	11/11、3/10	
なごみ運営推進会議		
久遠の響運営推進会議		
ひだまりの里運営推進会議	5/19	
ふるさと母里運営推進会議		
伯寿の郷運営推進会議	3/22	
和み館運営推進会議	6/22	
比田デイサービス運営推進会議		
レッツ倶楽部安来中央運営推進会議		
しらさぎ苑第一デイサービス運営推進会議		

(3) 職員の研修参加状況（初回開催日順）

研 修 名	会 場 等	開 催 日
成年後見制度利用促進 第 158 回市町村セミナー	オンライン研修 (YouTube セミナー)	5/27
令和 4 年度 主任介護支援専門員更新研修	くにびきメッセ、 オンライン研修 (Zoom)	①6/21～23 ②7/26～27 ③8/6～8/8
令和 4 年度 主任介護支援専門員研修	くにびきメッセ	①7/2～7/3 ②8/6～8/7 ③9/12～9/14 ④10/24～10/26 ⑤11/8～11/9
「大切な方への絆ノート」書き方セミナー	安来中央交流センター3 階講義室	7/4
令和 4 年度 認知症地域支援推進員初任者研修	オンライン研修	7/12～13
令和 4 年度 認知症セミナー	オンライン (Zoom ウェビナー)	7/29
令和 4 年度 認知症地域支援推進員研修 (現任研修)	オンライン研修 (Zoom)	8/2～8/3
令和 4 年度 地域包括支援センター職員基礎研修	E ラーニング	8 月
令和 4 年度 在宅医療介護連携推進事業 「高齢者住まい看取り研修」	オンライン研修 (Zoom)	8/25・26・29
令和 4 年度 安来市地域包括支援センター職員研修	広瀬社会福祉センター オンライン研修 (Zoom)	①8/25 ②10/31
令和 4 年度 介護支援専門員研修兼更新研修 (実務経験者) 専門研修課程	くにびきメッセ、 オンライン研修 (Zoom)	①9 月 ②10/3～10/4 ③10/27～10/28
令和 4 年度 認知症地域支援体制推進	オンライン (Zoom)	①9/22

全国合同セミナー		②1/20
2022 居住支援研修会	オンライン研修	10/17
令和4年度 認知症初期集中支援チーム員研修	Eラーニング、 オンライン研修 (Zoom)	①10/9～10/27 ②11/5
令和4年度「地域共生社会推進セミナー」	オンライン研修 (Zoom)	11/8

(4) 実習等受入状況

学 校 名 ・ 実 習 名	期 間
島根大学医学部看護学科 地域看護実習	6/6～7/1 の間の計2日間・延べ4名
島根県立大学看護栄養学部看護学科 公衆衛生看護学実習	10/17、10/18 の計2日間・延べ4名

(5) 職員派遣状況

研 修 名	会 場	開催日	テ ー マ ・ 内 容
いきいき健康スポーツの会	下石原公会堂	4/14	こけないからだ体操、ものトレ
飯生町寿会	飯生町集会所	5/12	こけないからだ体操
井尻地区社協市中屋ミニデイ	井尻交流センター	5/12	認知症予防・介護予防
You は安来で何してる(安来市/安来高校)	安来高校 体育館	5/26	地域の大人に聞く
YASUGI 未来アトリエ(安来市/島根県立大学)	やすぎ懐古館一風亭	6/18	働くことの「継続的な経過」と「生き方」
高齢期のシリーズ学習会(新日本婦人の会安来支部)	赤江交流センター	6/26	介護保険を考えよう
須山ミニサロン	須山集会所	8/24	認知症について
生活支援ボランティア養成講座	わかさ会館大集会室	9/13	認知症サポーター養成講座
情報科学高等学校	情報科学高等学校	10/26	地域講師
須山ミニサロン	須山集会所	11/8	こけないからだ体操
広瀬中学校第1学年職場訪問	広瀬社会福祉センター	11/16	包括の仕事について
広瀬地区民生児童委員協議会 総会	広瀬中央交流センター	12/1	包括の業務と総合相談
上町ミニサロン	広瀬社会福祉センター	12/20	こけないからだ体操
ミニデイサービスかえるの会	比田交流センター	1/30	こけないからだ体操
広瀬中学校第2学年「働く人に学ぶ会」	広瀬中学校	2/1	地域講師
菅原うきうきサロン	菅原交流センター	2/17	こけないからだ体操
宇賀荘健康を楽しむ会・宇賀荘地区老人会	宇賀荘交流センター	2/24	こけないからだ体操
令和4年度 介護支援専門員研修	くにびきメッセ	2/28	講師派遣
安来高等学校2年生(総合的な探究の時間発表会)	安来高等学校会議室	3/16	助言者
令和4年度介護の入門的研修	島根総合福祉専門学校	3/20	介護保険について
さわやかサロン1班	広瀬社会福祉センター	3/23	こけないからだ体操

新（6）地区民生児童委員協議会「定例会」訪問（意見交換）

地 区 名	会 場	開 催 日
安 来	安来中央交流センター	6/8
赤 江	赤江交流センター	5/10
荒 島	荒島交流センター	5/7
飯 梨	飯梨交流センター	6/1
能 義	能義交流センター	6/3
大塚・吉田	吉田交流センター	5/14
宇 賀 荘	宇賀荘交流センター	5/9
島 田	島田交流センター	6/5
広 瀬	広瀬社会福祉センター	7/13
布 部	布部交流センター	8/5
比 田	湯田山荘	7/4
山 佐	山佐交流センター	5/11
安 田	安田交流センター	6/5
母 里	母里交流センター	7/5
井 尻	井尻交流センター	7/5
赤 屋	赤屋交流センター	7/1

Ⅸ. 各種実態調査

1. 「身元保証・死後事務等に関するアンケート調査報告」の概要

(1) 実施理由

身元保証や死後事務等の支援を必要とする方々の状況や課題を把握し、今後の本市における身元保証、死後事務等の支援に関する体制整備についての検討及び政策形成に資することを目的としてアンケートを行った。

(2) 調査対象者：55 か所

①公営民間賃貸住宅・医療機関、入所施設（36）

住宅供給公社(1)、市内不動産会社(2)、病床を持つ医療機関(4)、介護老人福祉施設(4)、介護老人保健施設(2)、介護医療院(3)、グループホーム(10)、サービス付き高齢者住宅(2)、軽費老人ホーム(1)、養護老人ホーム(1)、住宅型有料老人ホーム(2)、障がいグループホーム(3)、宿泊型・自立訓練(1)

②相談支援機関（19）

行政、社会福祉協議会、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所(11)、障がい者相談支援事業所(5)

(3) 調査方法：アンケートを郵送にて配布し実施

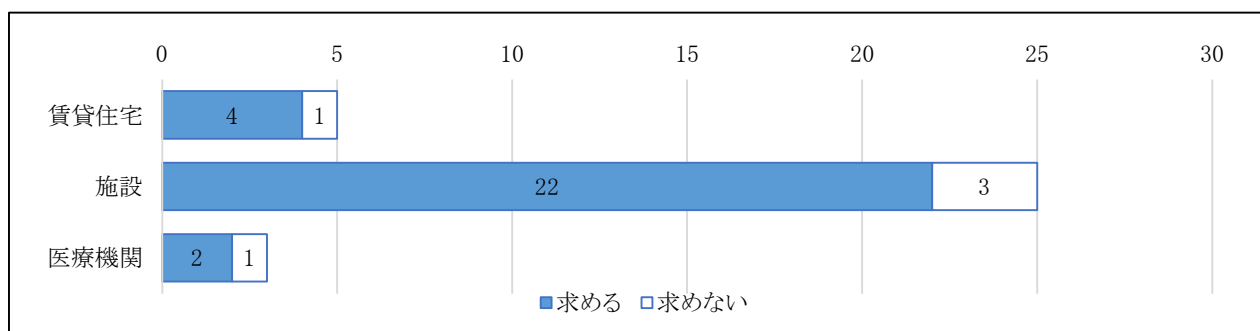
(4) 調査結果：回収率①91.7% ②78.9%

■身元保証に関する事項について（提案）

1. 保証人要件の見直し
2. 誰もが安心して入居・入所できる仕組みづくりの検討

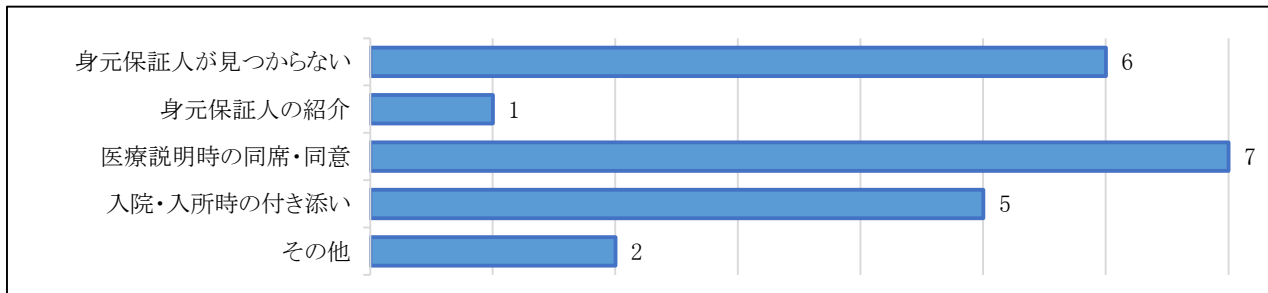
（公営民間賃貸住宅・医療機関、入所施設アンケートより）

問2 貴機関が管理する住宅への入居、あるいは貴施設・機関に入所、入院される際に身元保証人等を求めますか？

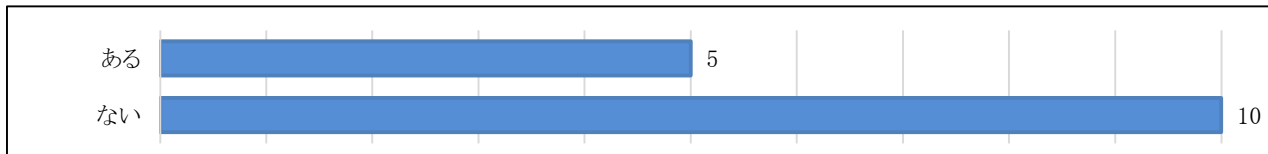


(相談支援機関のアンケートより)

問3 相談者や利用者から身元保証人について、どのような相談を受けましたか。(複数回答可)



問5 公営住宅、民間賃貸住宅契約、施設入所や入院の際に、身元保証人をたてられず入居、入所や入院ができなかった施設等がありますか。

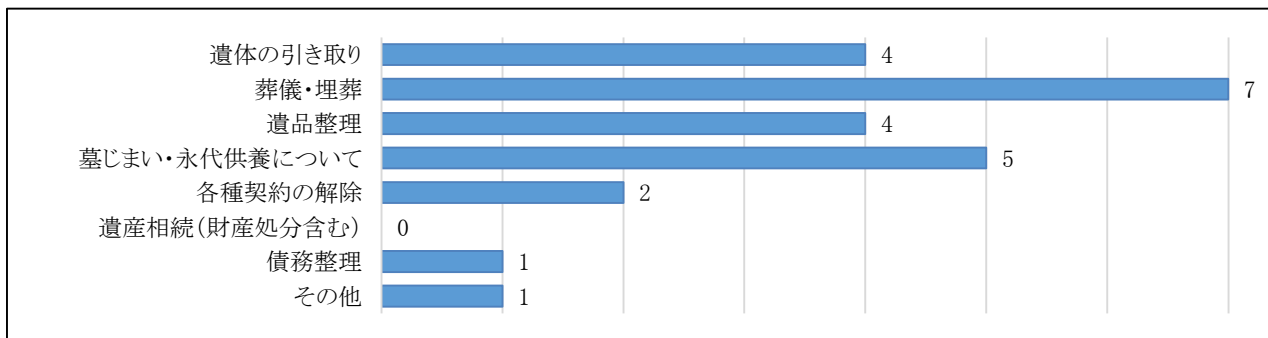


■死後事務に関する事項について (提案)

1. 死後事務に関する「包括的な相談支援体制」づくり
2. 「エンディングノート」の活用と「エンディングサポート事業」(終活事業)の本格実施に向けた検討

(相談支援機関のアンケートより)

問2 死後事務について、どのような相談をうけましたか。(複数回答可)



問3 相談者や利用者が亡くなってから、対応した死後事務はありますか。(複数回答可)

